

請願・陳情の審査

請願・陳情とは？

地方公共団体等に対し、困っていることや意見・要望について、公的な機関へ改善などを要望するよう申し出ることです。議員の紹介がないものを陳情、紹介があるものを請願と呼びます。

■ 陳情第1号 「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の採択を求める陳情書

不採択

付託先：教育民生委員会

**概要** 昨年の診療報酬改定はプラス改定となったものの、物価高騰や人材不足の影響もあり、医療・介護・福祉の現場は依然として厳しい状況にある。特に訪問介護分野では事業所の倒産や閉鎖が相次ぎ、ケア労働者の負担増や離職も深刻化している。地域医療・地域介護を守るため、国に対し、定期改定にとられない報酬見直しと、物価上昇を上回る賃金引き上げを強く求めてほしい。

趣旨採択すべきという意見

ケア労働者の賃金を、物価上昇を上回るように引き上げることは同意する。しかし診療報酬や介護報酬が上がると診察料も上がり、市民の生活に影響が出るおそれがある。よって制度の抜本的な改正が必要である。

不採択という意見

診療報酬、介護報酬の定期的な改定ではなく機敏な改定の場合、現場では処遇改善加算の対応などの膨大な事務作業が発生する。その負担を考えると現実的ではない。

討論

(東井議員)医療・介護現場は物価高騰や人材不足により厳しい状況が続いており、陳情の問題意識は理解できる。特に訪問介護分野では事業所の倒産や閉鎖が相次ぎ、地域医療・介護の維持が課題となっている。一方で、国において報酬改定など一定の対応が進められており、保険料負担への影響も考慮が必要である。以上を踏まえ、本陳情は趣旨採択とすべきと考える。

※本陳情は、まず「趣旨採択」について採決されましたが否決されたので、続いて「採択」について採決が行われました。

	三村尚司	田中良幸	加藤優	土田光	堀川秀樹	西野有香	東井忠義	酒井友季子	林下豊彦	江端一高	大門嘉和	空美英	福原敏弘	佐々木一弥	遠藤隆	帰山明朗	石川修	木村愛子	玉邑哲雄	議決結果
「趣旨採択」	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	欠	×	-	×	○	○	○	×	否決
「採択」	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	-	×	×	×	×	×	不採択

※佐々木議長は採決に加わっていません。 ○=賛成 ×=反対

ここが聞きたい！  
一般質問



一般質問とは？

市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に対して考えを聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。

ページ	質問者	質問内容	日程
P.13	さかい ゆきこ 酒井友季子	1. 5歳児健診とフォローアップ体制について / 2. 産後ケア事業について / 3. 移動期日前投票所および豪雪時の投票環境確保について / <a href="#">4. 財政持続性について</a>	3/2 午前
P.14	かとう まさる 加藤優	<a href="#">1. 小中学校GIGAスクール推進事業について / 2. 発達性読み書き障がい(ディスレクシア)について / 3. 健康いきいきプランにおける健康づくり計画の進捗と今後の強化について</a>	3/2 午後
	えんどう たかし 遠藤隆	1. 新年度に向けた本市の強みの横展開について / <a href="#">2. 公共施設男子トイレへのサニタリーボックスの設置について</a>	
P.15	きむら あいこ 木村愛子	<a href="#">1. ふるさとさばえに自信と誇りを持てる暮らしについて / 2. ほんのきっかけプロジェクトについて / 3. 地区まちづくり計画について / 4. 脱炭素社会の取組について</a>	3/3 午前
	にしの ゆか 西野有香	1. ハラスメント対策について / <a href="#">2. 鳥獣害対策について</a> / 3. 地域人材の活用と教員の働き方改革の推進について / 4. 女性活躍から自分活躍への発展におけるジェンダー政策の深化について	
	はやしした とよひこ 林下豊彦	<a href="#">1. 歩道の除雪について / 2. 部活動の地域展開について</a> / 3. 民生委員と地域包括支援センターとの連携について / 4. 行政の情報発信について	
P.16	だいもん よしかず 大門嘉和	<a href="#">1. 鯖江市におけるスポーツ行政 / 2. 神明苑の再整備について</a>	3/3 午後
	ほりかわ ひでき 堀川秀樹	<a href="#">1. 令和8年度予算について</a>	
	かえりやま あきお 帰山明朗	<a href="#">1. 令和8年度当初予算案から</a>	
P.17	たなか よしゆき 田中良幸	<a href="#">1. 嚮陽会館の改修工事について / 2. 市内で行われているイベントに対する助成、補助について / 3. 鯖江駅からサンドームに至る道路の整備について</a>	3/3 午後
	とうい ただよし 東井忠義	1. 自主財源の確保について / 2. 災害時避難行動支援について / 3. 認知症の人が地域で安心して暮らせるために / <a href="#">4. 嚮陽会館複合交流施設整備事業について</a>	
	ふくはら としひろ 福原敏弘	<a href="#">1. 令和8年度予算編成について / 2. 鯖江市国土強靱化地域計画について</a>	

※質問内容のうち青字で下線が引かれたタイトルは、以下に詳細を掲載しています。

さかい ゆきこ  
**酒井友季子** (ふくいの党・鯖江)

**財政の持続可能性について**

**問** 公共施設更新のピークは。  
**答** 今後5年程度が当面の集中するピーク期である。  
**問** 将来負担は何年スパンで見ているのか。  
**答** 今後30年を対象にシミュレーションをしている。2050年には鯖江市の人口は約59,000人に減ると予測されている。人口減少を前提に市債残高や公債費の推移を注視している。  
**問** 大きな財政判断が今後続いていく局面で、何を優先し、何を見直していくのか、市長の判断基準は。持続可能な財政運営に向けた市長の政治姿勢と覚悟を伺いたい。

**答** 市長 将来に過度な負担を残さないことを軸に、これまで持続可能な財政運営を最優先に考えてきた。「将来どんな鯖江を残していきたいか」が判断基準。  
・市民の皆様に喜んでいただけるか  
・何度も足を運んでいただけるか  
・鯖江市の魅力が高まるか  
という視点が重要であると考えている。事業費増加や財政負担の高まりなど、慎重な財政運営が求められる局面にある中で、痛みが伴う場合もあるかもしれないが、職員と共に知恵を絞り、努力しながら持続可能な財政運営を目指していく。  
**意見** 子どもたちに過度な負担を残さない財政運営こそ、私たち世代の責任。